



村小だより

平成30年3月14日発行

互いの思い、確かに伝わった 六年生を送る会

校長 鈴木 正美

天気の良い朝、白鳥の群れが北国を目指し飛んでいく様子が多く見られる時節を迎えています。その時のV字隊形の美しさに見とれてしまうのは私だけでしょうか。

さて、学校ではどの学年も進学・進級に向けた「1年のしめくり」として様々な取組や活動が正真正銘のラストスパートに入っています。

この間、一人一人の学習面での復習はもちろんですが、来年度当初の学校生活がスムーズにスタートできるよう、委員会活動、通学班等の組織づくりや新リーダー、新班長への引継ぎが行われてきました。現在は、「6年生に教えてもらいながら一緒に活動段階」から「6年生に見守られながら、新リーダーの力で試運転段階」に進んでいます。そして、様々な場面で新リーダー、新班長の張り切り感や真面目さが伝わってきます。そのような期待に応えようとするすばらしい姿に、全職員でエールを送っているところです。

< 6年生を送る会(2/23) : 校長あいさつより >

6年生を送る会に向けたこれまでの取組、そして、今日のすばらしい発表、ありがとうございました。1年生から5年生の皆さんも、6年生の皆さんも、どちらも「それぞれの思いや気持ち」が込められたすばらしい出し物やメッセージでした。

特に、実行委員を中心とした5年生の皆さんは、本当によくがんばってくれたと思います。3学期は5年生に寄せる先生方の期待が大きくなります。それは6年生に代わって、全校をリードしていく心構えを自覚してもらわなければならないからです。私は、今日の6送会の準備、そして運営をとおして、「きっと全校のリーダーとして立派にやってくれる」という思いを強くもちました。この調子でがんばってくださいね。大いに期待しています。

さて、6年生の皆さん。この1年間、村上小学校の最高学年として、全校や地域のために、様々な活動でもてる力を発揮してくれましたね。感謝しています。ありがとうございました。卒業まで、ちょうど1か月です。小学校最後となる日々の授業や活動を大切にしながら、もう少しの間、学級や学年の仲間と良い思い出を積み重ねてください。そして、皆さんの思いが一つとなった卒業式にしましょう。

最後になりますが、ご来校いただいた学校評議員の皆様、保護者の皆様、そして通学や図書館ボランティア、老人クラブ等の地域の皆様、本日はありがとうございました。二度と再現できない職員劇も含め、楽しんでいただけましたでしょうか。また、子どもたちの成長ぶりを感じていただけましたでしょうか。今後とも、ご理解とご協力、よろしく願いいたします。

今日の6年生を送る会。大成功だったと私は思います。どうですか。みんなで、みんなに大きな拍手を送りましょう！（大きな拍手が体育館に響き渡り、その後、閉会しました。）

ご多用のところ、多くの皆様からご来校いただきました(優に120名は超えていたと思います)。心から感謝申し上げます。

さて、来週23日、平成29年度村上小の教育、最終章「卒業式」を迎えます。当日、卒業生を見かけましたら、祝福の一声をかけていただければ幸いです。